

- 問1 明治政府が1873年から開始した地租改正において、それまでの年貢（租税）の仕組みから大きく変更された点として、税率の基準と納税方法の正しい組み合わせはどれですか。（2021年 島根県公立入試 類似）
1. その年の収穫高を基準とし、現金で納める。
 2. 土地の価格である地価を基準とし、現金で納める。
 3. 土地の価格である地価を基準とし、米で納める。
 4. その年の収穫高を基準とし、米で納める。
- 問2 明治政府が行った地租改正によって、租税の納め方はどのように変化しましたか。それまでの江戸時代の仕組みと比較した説明として正しいものを選びなさい。（2014年 沖縄県公立入試 類似）
1. 農民が、収穫した米を市場で売却した利益の半分を納めるようになった。
 2. 村ごとに、その年の収穫高に応じた額の現金をまとめて納めるようになった。
 3. 土地の所有者が、地価を基準とした一定額の現金を納めるようになった。
 4. 土地の所有者が、収穫量に応じた分量の米を納めるようになった。
- 問3 明治政府が地租改正において、税率を「収穫量」ではなく「地価（土地の価格）」に基づき、さらに「現金」で納めさせるようにした最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 福島県公立入試 類似）
1. すべての土地を国有化し、政府が直接農業経営を行うため
 2. 天候による豊作や不作に左右されず、政府の収入を安定させるため
 3. 農民の税負担を大幅に軽減し、農業の近代化を促進するため
 4. 江戸時代から続く身分制度を維持し、武士の特権を守るため
- 問4 明治政府が「廃藩置県」という強硬な改革を断行した最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 埼玉県公立入試 類似）
1. 中央政府が全国の土地と人民を直接支配し、中央集権国家を確立するため
 2. 旧藩主の債務を政府が肩代わりし、士族の生活を保護するため
 3. 天皇が全国を巡幸するための宿泊施設を、各県に整備させるため
 4. 各地の開所を廃止し、人や物の往来を自由にして商業を活性化させるため
- 問5 16世紀の伝来から江戸時代の禁教令を経て、明治初期まで続いたキリスト教への制限が、1873年に「五榜の掲示」の撤去という形で事実上解禁された理由として、最も適切なものはどれですか。（2026年 茨城県公立入試 類似）
1. 文明開化が進む中で、欧米諸国から信教の自由を認めないことに対する強い抗議を受けたため
 2. キリスト教の布教活動が、日本の近代産業の発展に不可欠であると政府が判断したため
 3. 民衆の間でキリスト教が急速に広まり、政府が取り締まることが不可能になったため
 4. 岩倉使節団が欧米の視察から帰国し、キリスト教を国教とすることを決定したため
- 問6 北東アジアの地図上において、樺太島全体をロシア領とし、そこから北東に連なる島々である千島列島を日本領とすることで領土を交換した1875年の条約について、日本側がこの交渉を行った外交上の主な目的として最も適切なものはどれですか。（2026年 埼玉県公立入試 類似）
1. 千島列島を拠点として、カムチャツカ半島への進出を国際的に認めさせるため
 2. ロシアとの間で不明確であった国境を画定させ、北方での紛争を未然に防ぐため
 3. 日清戦争に備えてロシアを味方につけるために、樺太の資源を譲渡するため
 4. 不平等条約の改正を有利に進めるために、ロシアと軍事同盟を結ぶ必要があったため
- 問7 明治政府が1873年から実施した地租改正において、それまでの江戸時代の年貢（租税）の納め方と大きく異なる点はどれか。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 耕作者が、地価の3%を米で納めるようになった
 2. 土地の所有者が、収穫量の3%を現金で納めるようになった
 3. 耕作者が、収穫量の3%を米で納めるようになった
 4. 土地の所有者が、地価の3%を現金で納めるようになった
- 問8 明治政府が1872年に群馬県に開設した、輸出用の高品質な生糸を生産するための官営模範工場の名称として正しいものを選びなさい。（2020年 大分県公立入試 類似）
1. 長崎造船所
 2. 足尾銅山
 3. 富岡製糸場
 4. 八幡製鉄所
- 問9 1871年に岩倉使節団が欧米諸国を訪れた際、ある国の国家体制を日本の憲法制定の重要な手本としました。プロイセンを中心として達成された、この国家統一の名称として適切なものはどれですか。（2021年 山口県公立入試 類似）
1. アメリカ独立
 2. フランス革命
 3. イタリアの統一
 4. ドイツの統一
- 問10 明治政府が、伝統的な生活様式を改めてまで欧米の文化を積極的に導入した理由として、最も適切なものはどれですか。（2018年 岐阜県公立入試 類似）
1. 欧米の優れた文明を取り入れることを示し、不平等条約の改正を有利に進める狙いがあったため。
 2. 江戸時代の文化はすべて価値がないと判断し、日本独自の伝統を完全に消し去る必要があったため。
 3. 国民全員がキリスト教を信仰しなければ、近代的な工業化は不可能であると考えたため。
 4. 当時の欧米諸国から、西洋の衣服や食べ物を購入しなければ宣戦布告すると圧力を受けていたため。
- 問11 明治維新後の1871年から岩倉使節団が欧米へ派遣されている間、留守を預かる政府内で、武力を用いてでも朝鮮に開国を迫ろうとする主張が高まりました。西郷隆盛や板垣退助らによって唱えられた、この主張を何といいますか。（2023年 石川県公立入試 類似）
1. 征韓論
 2. 日朝修好条規
 3. 脱亜論
 4. 琉球処分
- 問12 1871年、明治政府はそれまでの藩を廃止して県を置く「廃藩置県」を断行しました。この改革が行われた最大の目的は何ですか。最も適切な説明を選びなさい。（2018年 山形県公立入試 類似）
1. 中央政府が全国を直接支配する中央集権国家を確立するため
 2. 旧大名の領地支配を認め、地方の軍事力を強化させるため
 3. 徴兵令を施行し、国民による近代的な軍隊を組織するため
 4. 江戸時代の身分制度を廃止し、四民平等の社会を実現するため
- 問13 幕末から明治維新にかけての政情の変化と、北海道にある五稜郭との関わりについて述べた文として、正しいものはどれですか。（2019年 福島県公立入試 類似）
1. 板垣退助を中心とする旧士族らが、自由民権運動の拠点として五稜郭で大規模な演説会を開いた。
 2. ペリーが来航した際、幕府が交渉の窓口として函館の五稜郭を使用し、和親条約の細則を決定した。
 3. 旧幕府軍が北海道の五稜郭に立てこもって抵抗したが、新政府軍に敗北して戊辰戦争が終結した。
 4. 明治政府がロシアの南下に備えるための北の守りとして、五稜郭に新たな政府軍の拠点を置いた。
- 問14 明治政府が1872年に「学制」を公布し、近代的な教育制度を導入した主な目的や背景として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 大阪府公立入試 類似）
1. 農村の労働力を確保するために、読み書きよりも農業技術の習得を優先させること
 2. 文明開化や富国強兵を推進するため、国家の近代化を支える有能な人材を育成すること
 3. キリスト教の布教を制限するために、仏教を基盤とした教育体制を再構築すること
 4. 藩校での教育を全国に広めることで、武士階級の伝統的な教養を維持すること

答え合わせ・解説

問1	答え 2 土地の価格である地価を基準とし、現金で納める。	明治政府は、近代国家としての財政を安定させるために租税制度を抜本的に改革しました。江戸時代の年貢が、その年の収穫高に応じて変動する「物納（米）」であったのに対し、地租改正では土地の価値である「地価」を基準に、豊作や不作に関わらず一定の税率を「現金」で納める仕組みに改められました。これにより、政府は安定した税収を確保できるようになりました。
問2	答え 3 土地の所有者が、地価を基準とした一定額の現金を納めるようになった。	明治政府は、国家財政を安定させるために地租改正を実施しました。江戸時代までの年貢は、その年の収穫量に応じて「米」を納める物納（物納制）であり、村がまとめて納める仕組みでしたが、地租改正によって土地の所有者が「地価」の3%（のちに2.5%）を「現金（貨幣）」で直接納める仕組みへと大きく転換されました。
問3	答え 2 天候による豊作や不作に左右されず、政府の収入を安定させるため	江戸時代の年貢は収穫された米の量に応じて納められていたため、凶作の年には政府の収入が激減するという不安定さがありました。地租改正によって、土地の価格を基準とした定額の現金を納めさせる仕組みに変えたことで、天候に関わらず毎年一定の予算を確保することが可能になりました。
問4	答え 1 中央政府が全国の土地と人民を直接支配し、中央集権国家を確立するため	廃藩置県が行われる前の版籍奉還では、土地と人民が形の上では天皇に返されましたが、実際には旧藩主が知藩事として統治を続けており、封建的な体制が残っていました。政府は、租税の徴収や軍隊の指揮を全国規模で統一し、近代的な「中央集権国家」をつくるために、藩そのものを廃止して政府直轄の県を置く必要があったのです。
問5	答え 1 文明開化が進む中で、欧米諸国から信教の自由を認めないことに対する強い抗議を受けたため	岩倉使節団が条約改正の交渉で欧米を訪れた際、キリスト教の弾圧が「野蛮な行為」として厳しく非難されました。不平等条約の改正を実現し、文明開化を推進して近代国家として認められるためには、信教の自由を認める姿勢を示す必要があったため、政府は掲示を撤去しました。
問6	答え 2 ロシアとの間で不明確であった国境を画定させ、北方での紛争を未然に防ぐため	江戸時代末期に結ばれた日露和親条約では、千島列島の境界は定められたものの、樺太については両国民の混住地（境界未定）とされていました。近代国家として中央集権化を進める明治政府にとって、領土の範囲を確定させることは急務であり、ロシアとの武力衝突のリスクを避けるために交換という形で解決を図りました。
問7	答え 4 土地の所有者が、地価の3%を現金で納めるようになった	地租改正の大きな転換点は、課税の基準を「収穫量」から「地価（土地の価格）」に変え、納税方法を「物納（米）」から「金納（現金）」に、納税者を「耕作者」から「土地の所有者（地券所有者）」に変更したことにあります。これにより、政府は天候による収穫の増減に左右されず、安定した税収を得ることができるようになりました。
問8	答え 3 富岡製糸場	明治政府は、当時の主要な輸出品であった生糸の品質向上と増産を目指し、フランスの技術を導入して群馬県に官営模範工場を設立しました。これが富岡製糸場であり、日本の近代化における殖産興業政策の象徴的な施設です。
問9	答え 4 ドイツの統一	プロイセンの首相ビスマルクは、軍備増強による武力での国家統一（鉄血政策）を推し進めました。明治政府の指導者たちは、日本と同じく後発の近代国家として急速な発展を遂げたこの国を理想的なモデルと考え、伊藤博文などが憲法調査のために滞在し、その仕組みを学びました。
問10	答え 1 欧米の優れた文明を取り入れていることを示し、不平等条約の改正を有利に進める狙いがあったため。	明治政府にとって、幕末に結ばれた不平等条約の改正は悲願でした。日本が欧米並みの文明国であることを国際社会に示すことで、対等な外交関係を築き、条約改正の交渉を有利に進めるという政治的な目的が背景にありました。
問11	答え 1 征韓論	明治初期、新政府の対応を不服とする土族の不満を外に向ける目的や、国交を拒否した朝鮮に対して圧力をかける目的で唱えられた主張です。岩倉使節団として帰国した大久保利通らが「内治優先（国内の整備が先決）」として反対したため、この主張は退けられました。
問12	答え 1 中央政府が全国を直接支配する中央集権国家を確立するため	明治政府は、1869年の版籍奉還によって土地と人民を形式的に天皇に返還させましたが、実際には旧大名が知藩事として引き続き各地を統治しており、政府の支配力は不十分でした。そこで、藩を廃止して新たに中央政府から府知事や県令を派遣することで、政府が全国を直接統治できる仕組みを作り、中央集権国家の確立を目指しました。徴兵令や身分制度の改革（四民平等）も明治維新の重要な改革ですが、廃藩置県そのものの直接的な目的は、地方統治の仕組みを根本から変え、中央政府の権限を強めることにあります。
問13	答え 3 旧幕府軍が北海道の五稜郭に立てこもって抵抗したが、新政府軍に敗北して戊辰戦争が終結した。	戊辰戦争は、1868年の鳥羽・伏見の戦いに始まり、江戸城の無血開城、東北地方での会津戦争などを経て、1869年に北海道の五稜郭が陥落したことで幕を閉じました。五稜郭は旧幕府軍が「蝦夷共和国」の樹立を目指して拠点とした場所であり、ここでの敗北が武士による統治時代の完全な終焉を意味しました。
問14	答え 2 文明開化や富国強兵を推進するため、国家の近代化を支える有能な人材を育成すること	明治政府が掲げた「富国強兵」や「文明開化」といった目標を達成するには、科学技術や新しい知識を吸収できる国民の育成が不可欠でした。学制はそれまでの身分制に基づいた教育を否定し、実力主義的な近代社会の基礎を作る役割を担っていました。